

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	美術工芸資料論			
担当教員	大久保純一			
授業概要	主として江戸末期の浮世絵をとおして美術史的な用語や方法論に関する基本を講義するとともに、浮世絵版画などの美術資料を歴史学の資料として利用するにあたっての留意点や可能性について考察する。			
教育目標・目的	近世史の資料として活用されることの多い浮世絵について、その歴史や形式、ジャンルなどの基礎知識を習得するとともに、それらの中から歴史的情報をいかに読み取るかについても考えられるようにする。また、実際の絵画や版画をもとに、その調査手法の実際についても身につけられるようにする。			
成績評価	平常の授業への参加状況および期末レポートによる			
授業計画	1. イントロダクションー浮世絵とはー	9. 錦絵の制作		
	2. 浮世絵概史1ー初期版画ー	10. 錦絵の版木を見る(資料実見)		
	3. 浮世絵概史2ー錦絵誕生ー	11. 錦絵の流通		
	4. 浮世絵概史3ー末期浮世絵ー	12. 多重イメージ読解の実際		
	5. 浮世絵のジャンルと特質ー美人画ー	13. 風刺画の諸相I		
	6. 浮世絵のジャンルと特質ー役者絵ー	14. 風刺画の諸相II		
	7. 浮世絵のジャンルと特質ー名所絵ー	15. 江戸のグランドイメージの視覚化		
	8. 浮世絵のジャンルと特質ー花鳥画ー			
実施場所	大学院演習室、資料調査室	使用言語	日本語	
前期・後期の別	通年	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	教科書は無し。参考書は授業の都度、提示する。			
備考				